

当社では、お客様に安全で快適な船旅を提供できるよう、次の取り組みを行ってまいります。

2025 年度 安全方針と安全目標

1. 安全はすべてに優先する

- ①整備不良(途中故障)事故0件、旅客負傷者事故0件、従業員作業事故0件
- ②発航前点検の徹底と励行
- ③安全に関する投資の拡大

2. 法令及び諸規則の順守

- ①運航基準の順守
- ②未承認の改造・改修工事の禁止
- ③船員の適切な労務管理

3. 常に安全の維持・向上

- ①ヒヤリハット情報収集・拡大並びに対応
- ②内部監査による業務他取組状況の定期見直し

4. 自ら考える組織

- ①情報伝達・コミュニケーションの確保
- ②社外研修への積極参加

5. 顧客を意識した事業活動

- ①お客様への積極的なお声かけの実施
- ②5S活動による顧客満足度の向上

6. 防災力向上の取り組み

- ① 自然災害発生時の対応訓練実施
- ② インバウンドに対応した安全対策実施

7. 無災害の職場づくり

- ① 労災事故を未然に防ぐ職員の安全意識向上

安全運航への取り組み

1. 安全管理規程他

「運輸安全一括法(平成18年)」に基づき、輸送の安全を確保するための対策を定めた「安全管理規程」を作成し、国土交通大臣に届け出ることが義務付けられています。

当社では、安全管理規程に基づいて日々安全運航に努めるとともに、運航細部において運航基準、作業基準等を定めお客様の安全を優先し運航しています。

2. 運輸安全マネジメント

当社では、運輸安全マネジメントのPDCAサイクルに沿って、安全に対する計画、実行、評価、改善のスパイラルを全職員が一丸となって取組み、個々のスキル、技術を向上させ事故防止を図っています。

3. ヒヤリハット情報の収集

当社では、小さな情報を職員が共有することで、大きな事故を未然に防ぐことを重要視しています。

このため、船員からのヒヤリハット情報(予期せぬ出来事、危険と思われる事案など)を収集し「船長会議」「船機長会議」を通して共有し改善を図っています。

4. 訓練の実施

毎年、定期的に訓練(地震・津波、火災、水難等)を実施し、危機管理意識を徹底しています。



5. 船の安全性

毎年、船体の点検(ドッグ入渠)を実施し、船体の安全を確認しています。

また、通信設備として「国際VHF無線機」「衛星電話」「パーソナル無線」を設置し、各機関との連絡体制を構築しています。

安全設備のご案内

1. 救命胴衣

船舶救命設備規則により、救命胴衣数は旅客定員のプラス 10%を搭載しています。

イルドバカンス3世号 定員 868 名 救命胴衣988個

イルドバカンスプレミア 定員 605 名 救命胴衣 690 個

救命胴衣は、各座席の下、通路階段下などお客様が船内のどのような場所においても、すぐに装着できるよう備えてあります。



2. 救命浮器

緊急事態が発生し退船が必要となった場合には、救命浮器にて退船を行います。

イルドバカンス3世号 定員 868 名に対し 16台 880 人収容

イルドバカンスプレミア 定員 605 名に対し 12台 660 人収容



救命浮器の設置状況

◇緊急時の船員誘導や救命胴衣の装着について

船員は緊急時の誘導、各種救命器具の取り扱いについては、十分な訓練を受けております。

船員の指示に従って行動をお願いします。

船客傷害賠償責任保険に関する内容

1. 船客傷害賠償責任保険 賠償限度額

1人あたり1億円

2. 契約期間

イルドバカンス3世号 : 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

イルドバカンスプレミア: 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

安全統括管理者・運航管理者に関する情報

1. 安全統括管理者

取締役社長 令和4年6月27日選任

2. 運航管理者

海運営業所 係長 令和2年6月26日選任